



昨年7月18日、兄川稲荷神社境内（田山統一祭典で撮影）

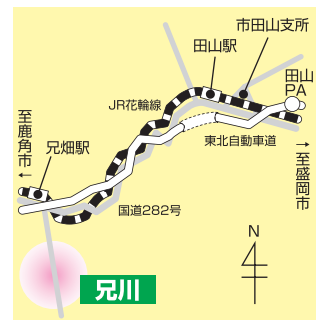
先人から受け継ぐ(3) 兄川先祓い

伝承では、ニニギの命が天照大神の命を受け、出雲の国に降り立ったが、猛蛇が多く困っていた。そこに鼻立ちの神が出てきて、踊りを踊りながら猛蛇を退け、案内をしてくれた。その時の踊りが先祓いということであるが、いつ、どこから伝えられたのかは不明である。

兄川先祓いは、刀を手に、大きく動く

勇壮さが特徴。昨年7月の田山統一祭典の際には、地元兄川地区の女子高生2人が初めて参加するなど、保存会では、地域を挙げて伝統芸能を継承しようと、踊り手などの育成に力を注いでいる。

- 保存会代表 関春造さん
- 市無形民俗文化財の指定 昭和52年4月6日（旧安代町指定）



あ
と
が
き



三浦 ただし

昨年の夏は猛暑で始まり、猛暑で終わり、その余韻さめやらぬうちに、大みそかの豪雪。そして年が明けての厳寒の毎日。「夏は夏らしく、冬は冬らしくなければ、世の中うまくいかないものだ」と、昔の人はよく言っていたものです。

しかしながら近年は、農業の担い手不足や耕作放棄地の問題、介護や地域コミュニティの問題、伝統文化の継承など、大きな問題が山積しています。特に、昨年は県内31市町村議会で、日本の農業分野が大きな打撃を受けることが懸念されるTPPへの参加反対の意見書を可決し、衆参両院議長や首相に提出しました。

新年がどんな年になるのか。えとの「ウサギ」にあやかり、夢や希望に向かって飛躍できる1年であってほしいと願っています。

議会広報特別委員会

- 委員長 伊藤一彦
- 副委員長 渡邊 正
- 委員 三浦 侃
- 委員 大森力男
- 高橋悦郎
- 立花安文